

LORC 2005年2月スケジュール

- 4日(金) オランダ国際シンポジウム参加者会合
時 間: 13:00 - 14:00
会 場: 龍谷大学深草学舎紫英館 2F 東第2会議室
テーマ: シンポジウム総括と日本語版報告書に関する議論
- 4日(金) LORC 研究員合同研究会
時 間: 14:00 - 17:00
会 場: 龍谷大学深草学舎紫英館 2F 東第2会議室
テーマ: 2年間の研究成果の共有と、現時点の成果を踏まえた研究目標の再確認および今後の研究活動のより緊密な協調について
- 5日(土) 第3班第6回研究会
時 間: 9:00 - 12:00
会 場: キャンパスプラザ京都 第2会議室
テーマ: 提言所の具体案とりまとめについて
- 14日(月) LORC 研究連絡会議
時 間: 14:00 -
会 場: 龍谷大学深草学舎紫光館 3F 会議室

各班活動状況

第1班 RA 辻本 乃理子

英国副首相府(Office of Deputy Prime Minister)より Matt Carter 氏と英国リバプール市より Penny Wakefield 氏のお二人をお招きし、英国およびリバプール市における地域戦略パートナーシップ(Local Strategic Partnership 以下 LSP)についてご講演いただきました。お二人には1月14日自治体職員対象、16日 NPO およびコミュニティ組織対象のシンポジウムでご講演いただき、また15日は第1班第4回研究会でご講演いただきました。各日程とも活発な質疑応答が行われ、大盛況のもと閉会することができました。今回のシンポジウムの内容を含め、LSP につきましては、ブックレットを出版する予定です。また、1月28日13:00より三重県庁講堂におきまして、東京農工大 COE、龍谷大学

LORC、三重県の共催によるシンポジウムが開催されました。1班より白石克孝班代表と逢坂誠二ニセコ町長が講演者として参加されました。

第2班 RA 新井 健一郎

1月中は、研究会などの主だった活動はなかったものの、出揃ったブックレット原稿の検討を電子メールなどを通して行った。1月28日に行われた研究会では、前号でもふれた通り、大学教育システム、また、自治体・NPO 研修システムの検討、試行を進めるワーキンググループを始動させるにあたり、方針や内容について議論・調整を行った。先に行った自治体職員研修調査から窺うことができた現行制度の問題点を踏まえ、今年度末から研究活動は新たな、建設的段階に入っていくこととなる。

第3班 RA 田村 瞳

1月7日に、第3班第五回研究会が開催されました。ここでは、主にLORCの2004年度の第3班における研究報告書の編集方針と2005年度以降のLORCの研究体制について話し合われました。また、今年度の提言書の取りまとめについても前回から引き続き、各研究員の情報交換及び役割分担が議論され、次回の2月5日に開催される第六回研究会でその成果を発表することが決定されました。

第4班 RA 金 湛

1月27日に開催される第6回の研究会のために準備してきた。この研究会は今年度の最後の研究会となるため、今年度の研究活動の総括や反省を行う。また、来年度から海外での活動が本格的に始動するため、その内容についても話し合う予定されている。そして、これまでの研究、特にインドで行ってきた調査などの成果をブックレットにまとめることも今回の研究会の重要な議題となる。

LORC information

LORC 研究員合同研究会が開催されます。

上記スケジュールでもお知らせしましたが、来る2月4日(金)にLORC研究員全体会を開催致します。来年度の中間報告を見据えて、過去2年間の研究成果と今後の方針を共有し、これからの調査・研究においてより緊密な協調関係を研究員間で構築する、というのがその主な狙いです。年度末でご多忙のこととは存じますが、今後のLORCプロジェクトの方針を議論する重要な場となりますので、皆様是非ご出席下さい。なお、ご質問等は、PD的場 (matoba@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp) までご連絡下さい。

掲示板

第1班研究員の逢坂誠二氏(北海道ニセコ町長)の記事が、「ガバナンス」1月号に掲載されています

逢坂町長の記事「三位一体改革の目的は財政の地方分権化」が「ガバナンス」1月号(2005年No.45、P36~37)に掲載されています。LORCでも「ガバナンス」は所有しておりますので、コピーなどご入用の際は、LORC支援室までご連絡下さい。

第2班研究員の木佐茂男先生(九州大学大学院法学研究員教授)の記事が、「住民と自治」2月号に掲載されています

「第4回小さくても輝く自治体フォーラム(2004年11月20~21日)」での木佐先生の記念講演「ゆたかな小規模自治体の創造」の内容が、「住民と自治」2月号(February, 2005)に掲載されています。皆様是非ご覧下さい。

新聞・雑誌などの記事について

新聞、雑誌などにご自分の記事が掲載された時は、ぜひLORC支援室的場 (matoba@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp) までお知らせ下さい。こちらでも出来るだけピックアップするようにしていますが、すべてをカバーするのは困難ですので、宜しくお願い致します。

LORC 資料室内文献紹介

本年度の LORC で購入した文献のうち、現在 LORC 資料室に保管してある文献についてはほぼご紹介を終わりました（LORC の Web サイトでリストをご覧ください）。LORC 研究員の皆様には昨年 12 月 20 日（月）のメールでもお願い致しましたが、資料室の充実をはかるため、皆様から LORC にとって有益な文献・映像資料などの情報をご提供頂きたいと思います。皆様ご協力宜しくお願い致します。

雑誌の情報は以下のサイトへ！

ガバナンス

http://www.gyosei.co.jp/book/g_zassi/gover/index_gover.html

日経グローバル

<http://www.nikkei.co.jp/rim/>

LORC 研究員のひとこと（紹介）

今月の研究員紹介は第 1 班研究員の広原盛明先生です。

広原盛明 氏

NPO 法人西山記念文庫 理事長

リバプールの地域戦略パートナーシップの報告を聞いて今昔の感に堪えなかった。というのは、いまから四半世紀前にサッチャー政権のライト・ツウ・バイ（公共住宅売却）政策とインナーシティ政策の研究のためにリバプールを訪れたことがあるからだ。当時のリバプール市は労働党それもミリタントレイバーと呼ばれたハードレフトの地方政府だった。中央政府と真向から対立する中で果たして衰退地域の再生がうまくいくのかと危なげに思ったが、その後十分にフォローしていなかった。今回、中央政府は労働党に、リバプール市は自由民主党に政権が代わり、その協調の下でパートナーシップが実施されているとのこと、再び訪れてその成果を確かめたい。

編集後記

お、お願いです。『体力』をください!!! 今欲しいものはお金で買えないものばかりです。(N)

今年もよろしく願いいたします。(K)

スキーヤーとして、今年は暖冬で雪がなかなか降らず心配していましたが、ようやくスキーをするのに最適な環境になってきたのでとても喜んでます。怪我には気をつけて冬のスポーツを満喫したいと思います。(H)

2 月 1 日から約 2 週間の間、研究資料を収集するため、私は一時帰国します。その間、年度末に当たって忙しい時期に入り、その上、全体会が開催されます。皆さんのお仕事を手伝えなくなります。ご迷惑をお掛けして、大変申し訳ありません。(Z)

今年最初の Newsletter でしたが、いかがでしたか？ 費やす時間が限られていますが、少しでも充実したものを作っていくように今年もがんばっていきますので、皆さんもご協力宜しくお願いしますね。(T)

LORC Newsletter Vol8, 31 January 2005

編集・発行：龍谷大学地域人材・公共政策開発システムオープン・リサーチ・センター（LORC）支援室

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町 67

TEL: 075-645-2312 FAX: 075-645-2240

E-mail: matoba@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp (PD 的場) WEB: <http://lorc.ryukoku.ac.jp/index-jp.html>